



平成 19 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ イ ツ ー
 代表者の役職名 代表取締役社長 大橋 康宏
 (J A S D A Q ・ コード 7 6 1 0)
 問い合わせ先 取締役 C F O 片山 靖浩
 電 話 番 号 0 3 - 5 4 0 8 - 5 5 3 2

平成 20 年 2 月期 10 月度の概況についてのお知らせ

平成 20 年 2 月期 10 月度の概況を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 単体売上高速報

(百万円)

	3月	4月	5月	1Q	6月	7月	8月	2Q	上半期	
売上高	3,819	3,613	3,104	10,536	2,995	3,419	3,186	9,601	20,137	
対前年同月増減率(実質)	10.9%	17.7%	8.8%	12.5%	18.8%	11.5%	4.6%	11.2%	11.9%	
対前年同月増減率(名目)	7.8%	13.9%	4.2%	8.7%	13.8%	7.0%	-0.8%	6.2%	7.5%	
	9月	10月	11月	3Q	12月	1月	2月	4Q	下半期	年度累計
売上高	3,180	2,718								
対前年同月増減率	7.0%	1.2%								

- (注) ・ 平成 18 年 9 月 1 日に株式会社テイツーのアイ・カフェ事業部門を会社分割し、子会社の株式会社アイ・カフェに承継したため、上半期中については比較対象としている前年の単体売上高を以下のように区別しております。
- ・ 対前年同月増減率(実質)は、比較対象としている前年同月の単体売上高には、アイ・カフェ事業部門の売上高を控除した数字を使用しております。
 - ・ 対前年同月増減率(名目)は、比較対象としている前年同月の単体売上高には、アイ・カフェ事業部門の売上高を含めた数字を使用しております。

2. 事業セグメント別 既存店売上高速報(対前年同月増減率)

	3月	4月	5月	1Q	6月	7月	8月	2Q	上半期	
古本市場事業	7.1%	12.9%	6.9%	8.9%	14.9%	9.6%	0.6%	7.9%	8.5%	
アイ・カフェ事業	4.1%	5.4%	9.6%	7.2%	11.8%	7.4%	5.6%	7.9%	7.2%	
E C 事業	-9.5%	-4.9%	-4.8%	-6.4%	-5.7%	-5.2%	-0.7%	-3.9%	-5.2%	
(E C 売上)	4.1%	9.8%	9.7%	7.8%	6.5%	7.2%	14.7%	9.3%	8.5%	
(その他売上)	-89.1%	-88.8%	-88.7%	-88.9%	-91.4%	-87.5%	-87.9%	-88.9%	-88.9%	
	9月	10月	11月	3Q	12月	1月	2月	4Q	下半期	年度累計
古本市場事業	3.9%	-0.5%								
アイ・カフェ事業	6.5%	-2.9%								
E C 事業	5.9%	-9.4%								
(E C 売上)	22.1%	5.9%								
(その他売上)	-86.9%	-90.2%								

- (注) ・ 事業セグメント別既存店売上高速報には連結対象子会社の売上高も含まれているため、上記 1. 単体売上高の対前年同月増減率とは連動いたしておりません。
- ・ アイ・カフェ事業は、連結対象子会社である(株)アイ・カフェの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
 - ・ E C 事業は、連結対象子会社である(株)ユーブックの売上高の対前年同月増減率を記載しております。
 - ・ 既存店は、開店後 13 か月目からを既存店舗と定義しております。

3. 営業概況

10 月度のテイツー単体売上高は、対前年同月増減率 1.2%増の 2,718 百万円となりました。

古本市場事業につきましては、10 月 4 日に発売された新品ゲーム「P S 2 ドラゴンボール Z スパークリング M E T E O R」が好調な売れ行きを示し、中古ゲームや古本の売上とともに堅調に推移いたしましたが、前年 10 月の新品ゲーム「D S ポケットモンスターダイヤモンド」「D S ポケットモンスターパール」のヒットによる売上までには及ばなかったため、既存店売上高は対前年同月比 0.5%減となりました。

アイ・カフェ事業につきましては、秋の新メニュー展開の一環として「うどん祭り」を実施したほか、仙台エリアにおいて 3 店舗合同のチラシ広告等を行い、販促を強化するとともにオンラインゲーム会社とのタイアップによるイベントも継続するなど提供コンテンツ拡充に努めましたが、前期と比べ休日数が 1 日少なかった影響などにより、既存店売上高は対前年同月比 2.9%減となりました。

E C 事業につきましては、人気アニメやドラマの原作本特集等をお客様に提供したほか中古 D V D 販売に 2 倍のポイントをつけるなど販売強化に努めた結果、E C 売上は対前年同月比 5.9% 増となりましたが、今年 2 月に行ったトナー事業の売却による影響により、E C 事業売上高は対前年同月比 9.4%減となりました。

4. 出退店の状況

	07/9 末店舗数	出店数	退店数	07/10 末店舗数
古本市場事業	1 1 8	0	0	1 1 8
（古本市場直営店）	（ 8 8 ）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 8 8 ）
（古本市場業務提携・F C 店）	（ 2 6 ）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 2 6 ）
（ブック・スクウェア）	（ 4 ）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 4 ）
アイ・カフェ事業	3 2	0	0	3 2
（直営店）	（ 1 6 ）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 1 6 ）
（F C 店）	（ 1 6 ）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 1 6 ）
合計	1 5 0	0	0	1 5 0

（注）売上高は、公表日までのデータに基づいた速報ベースであり、修正される可能性があります。

また、監査法人による会計監査は受けておりません。

以 上